

令和6年度社会福祉法人八千代町社会福祉協議会事業報告

近年、私たちの暮らす地域社会においては、少子高齢化が進展し、人口減少や高齢者世帯の増加などが顕著となってきております。また、新型コロナの感染以降、地域のコミュニティが変容し、家庭や地域において、人と人とのつながりの希薄化が進み、社会的に孤立する人や、生活困窮、介護・子育てに対する不安など、個人や世帯が抱える問題が複雑かつ多様化してきております。そして、社会福祉制度の狭間にあって既存の支援制度では十分な支援が届かないなどの問題が顕在化しています。

このような状況において、人と人、人と資源が世代や分野を超えて、つながることで、一人ひとりが役割を持ち、助け合いながら地域づくりを行う「地域共生社会」の実現が急務とされています。

本会では、これまで積み上げてきた土台の上に、変わりゆく社会に対応するよう、新たな地域福祉推進事業の実体化に向けた活動の展開に努めました。

重点項目への対応状況

- (1) 地域福祉活動計画の実現に向け、地域に関わる多様な構成員と協働し取り組みを進めるとともに、地域共生社会の実現に向けた体制の整備と、住民主体の福祉活動の推進に努めた。
- (2) ボランティアや児童生徒も含め、住民の誰もが参画する、地域福祉のコミュニティづくりのため、新たな発想と視点による福祉活動に取り組みました。
- (3) 活動・事業内容の周知を積極的に展開するとともに、コンプライアンスを最優先課題として認識し、職員の資質向上を行い組織運営体制の強化に努めました。

1 事業概要

(1) 法人運営

- ① 理事会、評議員会等を開催し、社協事業の適正な運営を図りました。

開催日	会 議 名	内 容
R6.5.17	監 査 会	令和5年度八千代町社会福祉協議会事業報告・収入支出決算の監査
R6.5.30	理 事 会	令和5年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 令和5年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会評議員会に推薦する役員の候補者について 八千代町社会福祉協議会定時評議員会の招集について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
R6.6.20	定時評議員会	令和5年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 令和5年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会役員の選任について
R6.6.20	理 事 会	八千代町社会福祉協議会常務理事の選定について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会に推薦する評議員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
R6.7.9	評議員選任・解任委員会	八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員長の選任について 八千代町社会福祉協議会評議員の選任について

R6.11.28	理 事 会	令和6年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算第1号について
R6.11.28	評 議 員 会	令和6年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算第1号について
R7.3.25	理 事 会	八千代町社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部を改正する規程について 令和7年度八千代町社会福祉協議会事業計画について 令和7年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出予算について 八千代町社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程について 八千代町社会福祉協議会福祉推進員規程の一部を改正する規程について 八千代町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約締結について 八千代町社会福祉協議会評議員会の招集について
R7.3.25	評 議 員 会	令和7年度八千代町社会福祉協議会事業計画について 令和7年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出予算について

②社協会員加入の促進

社協会員（普通会员・特別会員）への加入促進を図りました。

普通会员 4,699世帯 2,349,500円

特別会員 46事業所 485,000円

③ 八千代町 SDGs パートナー登録

八千代町 SDGs パートナーとして登録を行い、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みを行いました。



(2) 高齢者福祉対策

① 老人クラブ連合会の育成援助

高齢者芸能のつどい（中央公民館にて、連合会加入クラブ合同開催）

相互の友情と情報の輪を広げ、心身ともに健康で生きがいのある生活が送れるとともに高齢者の在宅福祉の向上に努めました。

会員数176名



② 寝たきり高齢者等への理髪料助成

民生委員の協力のもと、在宅で要介護３以上の助成申請者を対象に理髪料の助成を行い、介護者の労力の軽減と要介護者の衛生管理に努めました。



利用延人数 108名

③ 敬老祝い品の贈呈

町内の８８歳到達者及び１００歳以上の高齢者宅を、敬老を祝うと共に祝金品を贈り、高齢者福祉の充実に努めました。

敬老祝実績

	88歳	100歳	101歳以上	合計
男性	47	0	2	49
女性	63	6	10	79
計	110	6	12	128

④ ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

ボランティアの協力により、７０歳以上のひとり暮らし高齢者宅へ、毎月２回、第２・４火曜日に安否確認を目的とした友愛訪問と併せてお弁当を配付し、高齢者福祉の向上に努めました。



実施回数 21回

利用延人数 1,862名

(平均利用者数 92名)

⑤ 高齢者世帯クリスマス料理配布事業

７０歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ、民生委員の協力を得てクリスマス料理をお届けし、高齢者福祉の充実に努めました。

配布実績 ひとり暮らし高齢者 256名



⑥ ふれあいいきいきサロンの設置

地域の高齢者等の仲間づくりや生きがいを目的に、地域の公民館等に月1回以上集まりグラウンドゴルフや健康体操などを実施し、コミュニティづくりの推進に努めました。
(平塚西部、蒔田、高野、菅谷西部、仁江戸、西大山、川尻、兵庫・沼端、野爪、山ノ神、若、道前六保、久下田)

計13ヶ所



(3) 障がい者福祉対策

① 身体障害者福祉協会への育成援助

町身体障害者福祉協会への活動支援として、町身障者スポーツ大会の開催や茨城県障害者スポーツ大会への積極的参加を呼びかけ、生活意欲の向上を図れるよう努めました。

会員数 22名



町スポーツ大会参加者 14名

県スポーツ大会参加者 2名

② 視覚障がい者への「声の広報やちよ」のサービス

ボランティアサークルの協力のもと、希望者へ「声の広報やちよ」を毎月お届けしました。また、文字を読むことが困難な視覚障がい者や高齢者のために、町ホームページ上で「声の広報」を毎月公開しました。

③ 親子すこやか交流事業

町内の障がい児を対象に、ボランティアの協力を得ながら親子で社会参加できる機会を提供し、障がい者福祉の向上に努めました。

内 容	ランプ作り
参加者	22名



(4) ボランティア活動の推進

① ボランティアの育成援助

ボランティアの相談、斡旋、登録等、ボランティア活動の向上に努めました。

ボランティアセンター登録者数 37名

ボランティアの相談件数 2件

② 福祉教育への参加、協力

町内の小・中学校からの福祉体験学習の依頼を受け、個人ボランティアや手話サークルの協力を得て、車いすの介助方法や目や耳が不自由な方への介助の仕方、手話でのコミュニケーション方法を学びました。また、高齢化による身体の老化現象を疑似体験し、身体的不自由さや高齢者の心情を理解し、福祉に対する関心を高めました。

実施校数 4校

(車いす3回、アイマスク4回、手話2回、シニア体験2回)



③ ご近所声かけ隊事業

隊員として登録しているボランティアが、ひとり暮らし高齢者や小学校の登下校時の児童に声かけや見守りをするすることで、地域の安全確認に協力し、福祉コミュニティづくりの推進を図りました。

隊員登録数 13名

④ ボランティア連絡協議会の育成援助

主体的にボランティア活動が行えるよう、会議及び研修会を開催し、ボランティア団体及び個人ボランティア相互のつながりや、情報の共有・協働による活動展開ができるよう連絡協議会の活動を支援しました。

サークル登録数 4団体 96名

個人ボランティア登録数 10名

⑤ ボランティア活動保険加入受付

ボランティア活動中のケガや事故に備えて、ボランティアの皆さんに安心して活動していただくために、ボランティア自身が加入する「ボランティア活動保険」の加入を受け付けしました。

活動保険加入者 403名
行事保険加入者 964名
福祉サービス総合補償保険加入者 10名
ふれあいサロン傷害補償 68名

⑥ 寄附金品の受入れ及び払出し（善意銀行）

町民の方からの善意をお預かりし、地域福祉向上のために役立てました。

寄附金 11件 10,580,677円
物 品 37件（使用済み切手、タオル等）



「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を推進するため、町民を対象とした福祉向上につながる活動に助成をしました。

団体名	事業内容
八千代オハナこども食堂	子ども食堂の開催

⑦ 夏休みチャレンジ講座の開催（町内の小学生4年生～6年生対象）

「茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ」で、地域の子どもたちに対して手話体験を行い、手話で簡単なあいさつや50音の指文字を学びました。講話では耳が不自由な方の日常生活を知り、コミュニケーションの取り方や聴覚障がいについての理解を深めました。また、茨城県警本部庁舎を見学し、説明を聞いたり映像を見ながら警察の仕組みを学びました。サイクルシュミレーターを使って安全な自転車の乗り方や110番の模擬体験をし、110番通報した際の電話対応や自転車の乗り方など基本的なルールを再認識しました。

参加者数 24名



(5) 児童福祉対策

① サンタクロース派遣事業

保育園・幼稚園のクリスマス会などの行事にサンタクロースを派遣して、子どもたちへプレゼントを届けました。

(たちばな幼稚園・みどりが丘保育園、さわきこども園、八千代中央幼稚園、
中結城保育園、ひかり保育園、安静保育園、八千代ひかり幼稚園、八千代保育園、
こども園さんわ)

10園955名



② 福祉教育推進学区指定事業

令和5年度から2年間安静小学区を指定し、福祉体験学習や認知症サポーター養成研修等を実施し、子どもの時から社会福祉への理解と関心を高め、福祉の増進に努めました。



③ 子育て支援

子育て支援事業の実施団体へ助成をし、児童福祉の向上に努めました。

対象団体 八千代町女性団体連絡会

(6) 低所得世帯対策

① 生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会が行う貸付制度で、低所得世帯、障がい者の世帯、高齢者世帯の生活向上のため、貸付及び世帯更生指導を行いました。

年間相談件数 42件 (+10件)、貸付申込者 1名

② 新型コロナウイルス感染症による生活福祉資金特例貸付のフォローアップ支援

緊急小口・総合支援資金等の新型コロナ特例貸付の借受人に対して、訪問や電話連絡等で必要な情報提供・相談を行い、茨城県社会福祉協議会や自立相談支援機関等と連携を図りながら償還（返済）に関する支援を行いました。

償還免除 9件、償還猶予 8件、郵送 192件、食料支援 1件

③ 小口貸付資金貸付事業

民生委員の協力のもと小口貸付資金の活用により、低所得世帯の更生助長に努めました。

年間相談件数 29件（+1件）

貸付利用者2名（うち償還完了2名）、貸付総額 20,000円

④ 生活困窮者への食糧支援

フードバンク茨城から提供を受けた食糧を備蓄しておき、行政や社協へ相談に来た緊急性の高い生活困窮者への対応として、食糧の支援を行いました。

支援件数 24件（-20件）

(7) 相談事業

① 心配ごと相談事業

人権擁護員・行政相談員・学識経験者を相談員とし、毎月第2・4火曜日に中央公民館 談話室に相談所を開設し、住民の様々な悩みごとについて相談に応じました。

また、専門的な相談については、法テラス等の各専門機関と連携して必要な情報提供や適切な助言を行いました。

開所回数 19回

年間相談件数 7件

(来所3件／電話4件)

② 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症高齢者、知的、精神障がい者等で判断能力が不十分で親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きや通帳や証書などを預かり日常生活上での金銭管理を援助し、地域福祉の向上に努めました。

支援延時間 46時間



(8) 在宅福祉サービスセンター（有償ボランティアサービス）

高齢者のいる家庭、子育てなど在宅で福祉的援助を必要とする方が地域で安心して生活できるようサービスを提供し、在宅福祉サービスの向上に努めました。

協力会員 4名

利用会員 5名

利用延時間 151時間

(9) 受託事業

① 地域生活支援事業（スキルアップ手話講座）

日常会話の手話の読み取り・基本表現の習得を目指し、手話ボランティアの活動や、地域の聴覚障がい者と手話で会話ができるよう手話を学びました。



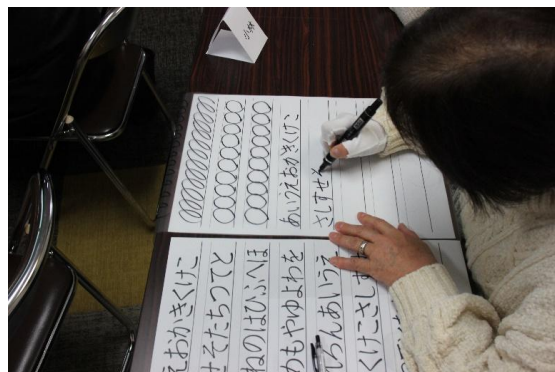
受講者数 14名

実施回数 31回

② 要約筆記1日体験講座

中途失聴・難聴者への理解を深めるため、様々な情報を伝えるためのコミュニケーション手段の一つである筆談や要約筆記の基本知識を学び、難聴者の暮らしをサポートする人材を育成しました。

参加者数 9名



(10) 介護保険事業

居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

生活の支援や介護が必要な方が住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるよう、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、ご利用者の立場に立った居宅サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。

また、ご利用者の心身の状況や生活状況を把握し、保健・福祉・医療サービスを総合的に提供できるよう支援しました。

月別利用状況

月平均利用者数 106名

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年	増減
要介護1～5	80	78	84	87	82	84	86	87	92	91	87	96	1,034	910	+124
要支援1～2 事業対象者	21	21	21	21	21	19	20	20	20	20	19	19	242	265	-23
合 計	101	99	105	108	103	103	106	107	112	111	106	115	1,276	1,175	+101

(11) 共同募金事業

① 赤い羽根共同募金事業の推進

茨城県共同募金会八千代町共同募金委員会として、10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施しました。

② 歳末たすけあい配分事業の実施

民生委員の協力を得て、町内のひとり暮らし高齢者や身体障害者など、支援を必要とする方々へ、支援金として配分を行いました。

配分基準	今年度	前年度	増減
ひとり暮らし高齢者	242	241	+1
身体障害者手帳1級保持者	159	161	-2
精神保健福祉手帳1級保持者	1	0	+1
療育手帳④・A保持者	46	45	+1
母子父子世帯及び父母のいない世帯	146	141	+5

(12) 広報活動

① 「社協だより」の発行（年1回）

② 「ボランティア広場」の発行（年5回）

③ ホームページの公開

④ Facebook、X（旧 Twitter）など SNS を通じた情報発信

(13) その他

① 福祉機器貸出事業

日常生活を支援するため、病気やケガなどで一時的に福祉用具が必要な方に、車いすのまま乗り降りできる福祉車両や福祉用具を貸出しました。



福祉車両貸出	56件
車いす貸出	41件
松葉杖	3件

② 遺族会への支援

町遺族連合会の活動及び護国神社参拝事業、県戦没者追悼式、県戦没者遺族大会の参加支援を行いました。

会員数	395名
護国神社参拝事業 参加者	93名

③ 施設配分助成金

町内の福祉施設が実施する高齢者や障がい者の生きがい支援を目的とする事業に対して助成を行いました。

(なごみ苑、特別養護老人ホーム玉樹、あじさい学園八千代、ベルあじさい学園、樂樂)
5施設 配分総額100,000円

④ 福祉団体助成事業

福祉団体に対して活動費の助成を行いました。

(八千代町遺族連合会、八千代町ボランティア連絡協議会)

⑤ 三世代交流事業

地域の高齢者から子どもまで三世代がつどい、行政区の良好なコミュニティ形成の充実に図ることを目的とした事業に助成を行いました。

4行政区(川尻、兵庫・沼端、下山川、久下田)

⑥ 住民生活応援事業

支援を必要とするひとり親世帯に対して、JA 常総ひかりからのお米の提供と共同募金配分金と合わせて、食料品の配布を行いました。

配布世帯数 145世帯



令和 7年 6月20日 提出
令和 7年 6月20日 認定
社会福祉法人
八千代町社会福祉協議会
会 長 野 村 勇